

第 4 回地域検討会（熊本県）での指摘事項に対する対応（案）

(1) 前回議事概要及び指摘事項について〔資料 1、資料 2〕
 特になし

(2) **平成 20 年度実施計画(案)**について〔資料 3〕

1	<p>【指摘】樋島海岸も瀬戸内海同様、外海と異なる条件なので、海底堆積ゴミについての議論が今後出てくると思うが、樋島での調査について環境省の考えを聞きたい。</p> <p>【対応】全ての海岸で海底ゴミ調査を行うのは難しいため、瀬戸内海海域に絞り調査手法や削減手法などについて検討し、成果の普及にも努めていきたい。</p>
2	<p>【指摘】熊本の検討会で、海底ゴミを含めた漂流・漂着、内海についての検討方法、調査方法、再生に向けての取組みについて議論するという理解でよいか。</p> <p>【対応】検討会では地域のあり方の検討が主体となるが、発生抑制対応なども含め、地域の課題は全て挙げた上で、解決の方向性までは議論していきたい。</p>

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要に関する説明について〔資料 4〕

3	<p>【指摘】発生起源別の集計、方向別の量の集計などについては、データ整理の目的を考え、事務局は臨機応変に対応していただきたい。樋島海岸の地域住民から見た迷惑物質である流木・海藻を含まないというのはおかしい。全国共通のまとめ方はあるが、熊本県には熊本県の実情があるので、それに合わせた分類が良いのではないか。</p> <p>【対応】発生起源別の集計では、流木等の自然系も含めている。グラフで示す際には、自然系以外のゴミの発生源についてわかり易くするために、漂着ゴミの大部分を占める自然系のゴミを除いている。</p>
---	---

(4) その他の調査の進捗状況に関する説明〔資料 5〕について
 特になし

(5) **地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方**について〔資料 6〕

4	<p>【指摘】報告書を作る際の考え方として、住民に対する広報的な役割を持ったものにしてほしいとの要望に対し、委員会としては真剣に取り組みたい。事務局も配慮されたい。</p> <p>【対応】拝承。地域の取り組みとして発生抑制というテーマについても、本地域検討会で検討していく。</p>
5	<p>【指摘】天草市の海岸線は非常に長く、ボランティア活動の中に苓北町や上天草市と同様の課題があると思うので、天草市の現状と課題も報告書に追加記載するとよい。</p> <p>【対応】拝承。</p>

6	<p>【指摘】漂着ゴミの処理に係る補助金（災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策推進事業）について、補助金対象の1,000 m³という規定を縮小して300 m³程度にできないか。</p> <p>【対応】補助事業が使いにくいという自治体からの意見は聞いており、補助要件の緩和に努めている。平成20年度には、複数の海岸で1,000 m³を越える場合は補助の対象となるよう、制度を拡充している。</p>
7	<p>【指摘】これまでもNPOの協力はあったと思うが、これを広げていく考えはあるか。</p> <p>【対応】昨年度と同様、今年度も引き続きNPOに炭化処理について研究を依頼する。流木を廃棄物として処理するだけでなく、利用することも処分の一手法として検討したい。</p>
8	<p>【指摘】報告書案について、用語の選択、構成など気になる点が多い。ゴミ問題にどう対応するかという大きな考え方からスタートして課題を浮き彫りにし、対象海域の特性、ゴミの特性とをきちんと捉えた上で、理想論はこうだが現状はこうだからここまでしかできない、といったまとめ方をお願いしたい。</p> <p>【対応】検討会のご意見を踏まえ、今後報告書を作成していきたい。</p>
9	<p>【指摘】他の地域はともかく熊本の報告書は使えるもの、マニュアル本として利用価値のある、住民が欲しがるといった内容にしていただきたい。</p> <p>【対応】拝承。</p>
10	<p>【指摘】資料の3ページの役割分担図について、各都道府県、市町村など関係団体から見てこれでよいか、不足部分の追加・過剰部分の削除など、検討されたい。関係省庁全てに問い合わせでの確認も必要で、現状の図は確定でないことを事務局ともども認識されたい。</p> <p>【対応】拝承。</p>

(6)全体を通じての質疑応答

11	<p>【指摘】参考資料4（アドプト・プログラム）について 企業のCSR活動、社会貢献活動、プラス美化活動として、企業の費用負担でその海岸の面倒を見てもらうようなことが可能であれば、自治体が大きな負担をしなくても海岸美化ができるのではないかと。今後の検討に値するのでは。</p> <p>【対応】（ご意見）</p>
----	---

以上